



ハトダヨ
2023年
10月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエィヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 FAX:0138-35-5525

函館市中央図書館だより

第89号 令和5年10月1日 発行

予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介
します。こちらを参考に読みたい
本を探すのも一つの方法です。

令和5年9月21日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

- | | | |
|----|------------|----------|
| 1 | 汝、星のごとく | 風良 ゆう／著 |
| 2 | 魔女と過ごした七日間 | 東野 圭吾／著 |
| 3 | くもをさがす | 西 加奈子／著 |
| 4 | 黄色い家 | 川上 未映子／著 |
| 5 | 青瓜不動 | 宮部 みゆき／著 |
| 6 | #真相をお話しします | 結城 真一郎／著 |
| 7 | 光のところにいてね | 一穂 ミチ／著 |
| 8 | ハンチバック | 市川 沙央／著 |
| 9 | 街とその不確かな壁 | 村上 春樹／著 |
| 10 | 教誨 | 柚月 裕子／著 |

図書館俳句ポスト受賞者

6月俳句ポストへ応募された中から選ばれた
作品です。お題は「辣蕪(らっきょう)」。

入選

繰り返し登る網戸の猫の爪
掛け軸の滝のあふるる四畳半
リラの雨やさしき人を追悼す
箸先に転ぶらつきよの憂鬱かな
泣き止みておもちや記念日夏の宵
田を植えて逆羊蹄風渡る

小野寺礼子
石川房子
安福巖
松浦学
池田陽子
練合陽子

佳作

過ぎし日のごめんねの数星月夜

中西芳之



★ 秋の読書週間イベント ★

大人図書館ツアー

日時：11月4日(土) 13:00~14:30
対象：18歳以上の方 定員 12名
内容：①ブックコートがけ体験
②図書館の裏側見学
(閉架書庫・屋上 他)
申込：中央図書館窓口、または電話にて受付
(TEL:0138-35-5500 担当まで)
募集期間：**10月15日(日) 9:30より**
定員となり次第締切

図書館員によるブックトーク

日時：10月28日(土) 14:00~15:00
(13:30 開場)
内容：スタッフがおすすめの本をご紹介します
場所：函館市中央図書館 2階 大研修室
定員：50名
申込：不要 (ご自由に会場へお越し下さい)



詳しくは館内のチラシ・ポスターをご覧ください

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「イクサガミ 天」

著者：今村 翔吾 出版社：講談社 （2022 年 2 月）

直木賞作家による『明治×異能の侍×東海道中×デスゲーム』と面白くならないわけがない要素満載の超絶エンタメ時代小説三部作の第1巻。

疾走感のあるストーリー展開に張り詰めた戦闘描写は山田風太郎の忍法帖シリーズを彷彿とさせながらも、さらに『面白さ』に特化し突き詰めた本作は間口の狭い時代小説への入口にふさわしい作品といえます。作品自体は現在2巻まで出ていますが、アツという間に読み終わり次の巻が待ち遠しくなること間違いなし。ちなみに装画担当は「東京喰種」の石田スイ氏。

場所：A1～3
請求記号：BF 17

タイトル：「全員がサラダバーに行ってる時に全部のカバン見てる役割」

著者：岡本 雄矢 出版社：幻冬舎 （2022 年 4 月）

このタイトルからすでに漂ってくる何ともいえない哀愁とおかしみ。書店で見かけて私はおもわず手に取らずにはいられませんでした。

なぜ自分だけがこんな目に？こんなはずじゃないんだ、生きるのって難しい。そんな日常の誰にでもあるトホホをあなたに明日笑ってもらうために、作者が世界の片隅でつぶやきました。小さな不幸に「あるある」と笑い、時にホロリとし、ちょっと何かを考えさせられる至極のフリースタイル短歌&エッセイ集です。

場所：A22～24
請求記号：911.168 札

タイトル：「父と私の桜尾通り商店街」

著者：今村 夏子 出版社：KADOKAWA （2019 年 2 月）

商店街で冴えないパン屋を営む父と娘の「私」。いよいよ店をたたむことに決めたある日、現れた女性をきっかけに店には徐々に客が戻り始める。その後店はどんどん繁盛していくが「私」の目的は売上とは全く別のところにあり…。

この表題作のほか6つの短編全てに共通するのは、懸命な主人公の行動とありえないほどへんてこな着地点。ときには痛々しいほどの状況に読み手である自分の中からは表現のしようのない感情が湧いてくるような、なんとも不思議な読後感です。

場所：A25～30
請求記号：F 17

館長随想（十九）



九月は初秋というのに暑い日が続きました。十月は少しずつ気温も下がることでしょう。今夏は猛暑で空調の入る中央館は混み合いました。図書館回廊にある喫茶ポルヤンではかき氷やソフトクリームを提供しており、昼時には食事のほか冷えたデザートを食べに来館者を多くお見かけしました。

ランチ・デザートを提供している図書館は道内に他にもあります。苫小牧市にある東開文化交流サロンでは図書室のほか、カフェが併設されています。カフェではパフェも提供しており、今夏七月下旬、休みに日帰りで車で行きました。濃厚なソフトクリームにフルーツがトッピングされ、満足の一品です。その日も大変暑い日でひとくち口に入れると舌の上で溶けて、またひとくち食べました。

図書館へのご要望として、夏でも自動販売機に温かいコーヒーを入れてほしい、電子レンジを置いてほしいなど食事にかかわるご要望も時々いただいております。広く図書館をご利用いただくためにどのようなサービスが必要か、常にアンテナを張り検討しております。ご要望が叶わず、がっかりされる方もいらっしゃると思いますが、いつも気に留めておりますこと、お知らせしたいと思います。

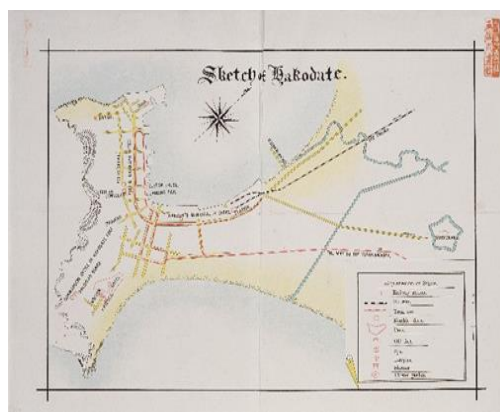
十月は作家講演会のほか、郷土の歴史講座もごさいます。本の展示では職員のおすすめ本もあります。一冊、お読みになるために手に取り、昼時になったり、小腹がすいたとき、ぜひ喫茶ポルヤンをご利用ください。もちろん、お持ちになったお飲み物を回廊で飲まれることも可能です。本のある館内においては飲食等は本や床が汚れるため、ご遠慮いただければ幸いです。

（館長 落合仁子）

デジタル資料館 紹介



函館二十間坂ノ景 Nijikken-saka,
(Hakodate) (pc000502)



Sketch of Hakodate. (1810657211)

大正2（1913）年に電車が開通する前の函館市内では、馬車鉄道が走っていました。

左側の写真の中央に馬車鉄道が走っている様子が見えます。

右側の地図には、馬車鉄道の路線が掲載されています。

桔梗配本所

いろいろな 図鑑 あります

図鑑は子供だけが読む物ではありません。大人だって調べたり読んだり眺めたっていいんです。

今回ご紹介する〇〇図鑑は、図鑑といえどもコンパクトなので子供向けの図鑑より軽くて持ち歩きにも便利です。

